

くすのき



～ 子どもは風の子 ～

3学期のスタートから早くも3週間が過ぎました。先日の1月20日は1年で最も寒いとされる「大寒」でした。大寒は二十四節気の最終節で、一年の最低気温もこの時期に記録されることが多いようです。9日(木)の朝には学校の校庭にも薄っすら雪が積もり、子どもたちはみんなで雪合戦をしたり、雪だるまをつくったりして遊んでいました。3学期に入って休み時間や体育の時間にも、寒さに負けず、元気いっぱい運動したり、遊んだりする氷丘っ子の姿が見られ、「子どもは風の子」ぶりを発揮しています。



さて、令和6年度もあと2か月となりました。市内では、学級閉鎖の措置をとる学校が増えています。学校でも手洗い・うがいや教室換気の励行等、感染症等の流行防止に努めてまいりますので、ご家庭におかれましても引き続きお子様の体調管理をよろしくお願いいたします。



保健室では、身体測定に合わせて、保健指導も行っています。今回は2年生が「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを学びました。



1月9日木曜日に書き初め会を行いました。入選者は市内書写展に出品されました。市内美術展、理科作品展にも力作が並びました。

職員玄関に入っすぐの、保健室や校長室前の廊下に、手作りおもちゃがたくさんあります。用事で職員室や保健室にきた子どもたちは、ひとしきり遊んで帰っていきます。校長先生、ありがとうございます。



～ 日本の年中行事「節分」～



2月3日は「節分」です(今年は暦の関係で2月2日です)。節分をはじめとする日本の伝統的な行事を次の世代の子どもたちへ繋いでいくことも私たち大人の務めだと考えます。そのため、学校給食においても、2月3日(月)は鰯の蒲焼き丼、節分豆の節分メニューになります。

節分はもともと“立春”“立夏”“立秋”“立冬”の前日の季節を分ける日という意味で、1年に4回ありました。室町時代の頃から立春の前日だけを“節分”と言われるようになりました。当時は立春が新年にあたるので、年神様が来る前に鬼を追い出し、家を清める必要がありました。“福を巻き込む”という縁起を担いで、巻き寿司の縁を切らないで恵方を向いて丸かぶりする風習も有名です(今年は西南西)。豆を煎って豆まきし、柊の葉に鰯の頭をさして門戸に置いておくと鬼が入ってこないとか。ちなみに、豆をまくのは「魔を滅する」ことから、柊の葉と鰯の頭と骨は鬼がその棘を嫌がるからという謂れがあります。

あっという間に2月に入り立春も目前です。暦の上ではもう春です。これを機会に、心の中から“なまけ鬼”を追い出したいものです。

～ ご協力ありがとうございました ～

先日、保護者の皆様に「学校教育活動に関するアンケート」への回答をお願いしましたところ、たくさんのご回答をいただきました。ご記名のうえいただいたご意見には、返答のご連絡をさせていただきました。十分な双方向のやり取りとはいきませんが、いただいたご意見を今後の教育活動に活かしていきたいと思います。

なお、アンケートの結果につきましては、児童・教職員アンケートと合わせて、集計と分析を行い、学校運営協議会委員の方々からの評価をいただいた後、まとめたものを学校ホームページ等で3月に公表します。

